



ISHIDA
医療法人仁友会 北彩都病院

地域医療連携室 広報誌

第5号 2014年8月

地域医療連携室通信



《春の青い池 撮影 和田 篤志》

〇〇〇 目次 〇〇〇

- 1 … 表紙
- 2 … 新任医師のご紹介
- 3 … 新任医師のご紹介 お知らせ
- 4～5… 部門紹介
訪問看護ステーション「北彩都」
居宅介護支援事業所 「北彩都」
- 6 … 催し物の紹介

○ 基本理念

「患者とともに歩む医療を実践する。」

「最良の医療を提供する。」

○ 基本方針

1. 患者さんの権利を尊重します。
2. 医療の質的向上に努め、信頼される病院を目指します。
3. 安全で安心して治療と療養が出来るように努めます。
4. 専門病院として、医療の発展を通して地域に貢献します。

新任医師のご紹介



新任のご挨拶

北彩都病院 副院長 内科医師 和田篤志

このたび、透析センター長、副院長として赴任させていただきました。前職中も皆様には大変お世話になりました。今後もこれまで同様、検尿異常、ネフローゼ、急性腎不全から保存期慢性腎不全、透析療法まで含めた広い範囲での腎臓内科治療を続けて行きたいと思えます。何か困った症例などございましたら、御気軽にご紹介いただければ幸いです。

転職の際には、患者さんから定年ですか？と聞かれたこともありましたが、まだその年ではありません。ちなみに石田理事長、平山副院長、田原俊彦と同じ年です。これからもいろいろと頑張るつもりですので、よろしく願いいたします。

私事で恐縮ですが、昨年前半は体調を崩してしばらく休んでしまい大変ご迷惑、ご心配をおかけし申し訳ありませんでした。現病歴としては2012年末から皮疹、発熱、倦怠感で発症、検査の結果どうやら皮膚筋炎という膠原病らしいことがわかりました。現在ステロイド、免疫抑制剤など内服中ですが体調は落ち着いており、おかげさまで日常の診療などはほぼ普通にできるようになりました。もともと細かいことが好きで楽器の自作などもしていましたが、最近はりハビリ代わりに旭川のゆるキャラ、あさっぴーの立体ペーパークラフトを作図から作ってみました。マイナーなキャラですが機会があればお披露目したいと思います。他愛もない話ですみません。

ところで私は現在日本透析医学会の透析調査委員会メンバーとして集計解析に携わっています。透析患者数はこれまで増加の一途をたどっており現在30万人を越えていますが、最近では頭打ち傾向にあり5-10年以内には減少してくる見通しです。とは言っても糖尿病性腎症や腎硬化症による透析導入は未だに増えており、特に北海道では高齢者が多いためか、糖尿病の比率が全国平均より高いようです。道北地区は透析病院の不足も問題ですが、今後は腎不全、透析への進展予防も含めた治療を、各病院での連携をさらに密にして進めていきたいと考えています。今後もお世話になることが多いと思えますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



和田先生考案
旭川市のゆるキャラ
あさっぴーの
ペーパークラフト

旭川駅傍にて

北彩都病院 内科医長 豊島 経康



5月より勤務している豊島と申します。旭川出身で当院は前身の石田病院時代から知っておりましたので、入職できて光栄に思っています。既に御存知でしょうが、当院について簡単に説明します。

旭川駅から徒歩1分という至極便利な場所に位置し、その外観は本物の煉瓦を30万個以上積み上げており、一見病院には見えません。

また内部も受付を含むホールは吹き抜けで地場産の木のぬくもりが感じられる椅子が設置されています。病棟についても廊下はトラックが通り抜ける事ができるほど広く高さもあり、その突き当りも壁ではなく窓になっているため解放感があります。来院する患者さんは、自分が病人ではない様に、若しくは半分病気が治ったと感じるのではないかと思える程です。先日も以前から当院前を通っており、いつか受診してみたかったという方がいらっしゃいました。

では、そのソフトたる支えるスタッフですが、日本の透析医療のパイオニアとしての誇りと自信を持って仕事をしており、向学心旺盛で絶えず新たな知見を求めて学会や研究会に参加しています。ただその立ち位置は、患者さん side であることは。言うまでもありません。

私自身もその設備、職員の方々に負けないよう院長先生を始めとする諸先生の下で日々精進しているところです。しかし如何せん内科、泌尿器科、外科の3科しかありませんので患者さんの容態によっては他の医療機関、施設等を紹介させていただき御迷惑をお掛けする事もあると思いますが、何卒宜しく御願ひ致します。

◆◇◆ お知らせ ◆◇◆

北彩都病院1階に4月1日より

ローソンがオープン！！

24時間営業中！！ 介護用品もあります。

是非、お立ち寄りください！



部門紹介

訪問看護ステーション 「北彩都」

居宅介護支援事業所 「北彩都」

訪問看護ステーション北彩都は平成12年に永山に訪問看護ステーション「ながやま」として誕生しました。翌年には居宅介護支援事業所も併設され、仁友会グループの在宅療養を支えてきました。現在訪問看護ステーションには管理者含め6名の看護職員と北彩都病院リハビリテーション科と兼務している理学療法士が1名、事務職員が1名で活動しています。

利用者が大切に生きてきた生き方や、望んでいる生活を尊重し住み慣れた地域社会、家庭でQOLを満たした生活ができるよう必要なケア、最良のケアの提供を目標に日々訪問看護を行っています。



病状の観察や医療処置のほかにも日常生活の援助、認知症ケア、介護方法の指導、ターミナルケアなど多岐に渡る援助を行っています。

北海道でも高齢化が進んでおり旭川では平成25年10月の時点で高齢化率は28.1%、今後も進んで行くといわれています。

今回の診療報酬改定から在院日数の短縮や、在宅復帰率が病院の診療報酬に関わってくるようになりました。そのため医療依存度が高い状態で退院する利用者が増え訪問看護のニーズは増加し多様化してきています。

訪問看護においても在宅褥瘡リスクを評価し看護計画を立案することが義務付けされました。当訪問看護ステーションでは3名の在宅褥瘡管理者がおり褥瘡の予防、計画管理を行っています。

居宅介護支援事業所では現在管理者の他、2名の専任ケアマネージャーと、1名訪問看護と兼務をしているケアマネージャーが在籍しており日々、ケアマネジメント業務を行っています。退院後の在宅生活に関わるサービス調整を入院中から関わりながら行います。退院後のADLやIADL、QOLを考えながら退院後も利用者、家族ともに穏やかに暮らすことができるよう各事業所と連携、

医療機関と連携をとりながらケアプランを作成させていただいています。その業務内容はとても幅広く社会資源の種類・情報や社会資源を活用するための手続きの方法、住宅改修、訪問介護、医療分野など、知識と経験が必要となります。在宅で生活している中で老化や疾患により様々な困りごとが出現してきます。そんな時、介護保険制度を利用して困りごとが解決したり、減らしたりすることができるようケアプランを作成し、そういう適切なケアプランを作成するため、研修などに参加の機会を多く持ち自己研鑽に努めています。利用者の在宅生活の根幹を支え、安心して在宅生活を続けてもらえるようなプランを作成していきたいと思ひます。

これからも訪問看護・居宅介護支援ともに地域、利用者から選んでいただける事業所を目指して日々業務に当たっていきます。



**障害や病気があっても
住みなれた地域社会や家庭で過ごせたなら
すてきだと思いませんか。
お世話する方も、される方も、安心して
家庭での療養生活を送れるように、
専門の看護師がお宅を訪問し、
療養のお手伝いをいたします。**

訪問看護は

看護師がお宅に訪問し

家庭での療養生活を

応援するサービスです。



訪問看護サービスを利用するには…
介護保険・医療保険が必要になります。
保険は年齢や状況によって異なります
ので、詳しくは、当ステーションまで
ご相談下さい。

連絡先

医療法人 仁友会 北彩都病院内
TEL 0166-26-8181
FAX 0166-26-8900



催 し 物

●第27回 医療法人 仁友会 北彩都病院 市民講演会

講演内容

① がまんできない、とめられない。
 困った時の泌尿器科のはなし
 北彩都病院 副院長 泌尿器科医師
 金子 茂男先生

② いきいき！！腎臓体操
 ～あなたらしい暮らしを続けるために～
 北彩都病院 理学療法士
 田中 巖 先生

2014年4月20日開催。119名参加しました！

次回は10月5日（日）第28回開催予定。
 内容は下肢静脈瘤の講演です。
 興味のある方は是非参加して下さい。
 参加料は無料です！！



●夏祭り 2014年7月17日開催。 患者さん・ご家族・職員も楽しみました。



発行 (医) 仁友会 北彩都病院
 地域医療連携室内
 広報誌「地域医療連携室通信」編集事務局

〒070-0030 旭川市宮下通9丁目4153番地1.2
 電話 0166-26-6411 (代)
 FAX 0166-26-6417 (直通)
 お気軽にお問い合わせください